

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[4] ヘキサクロロエタン</p>	<p>【水質】</p> <p>水質試料 1.0L pH5となるようアスコルビン酸を添加</p> <p>溶媒抽出 塩化ナトリウム 30g (淡水のみ) ジクロロメタン 1回目 100mL、2回目 50mL 振とう 各回10分間</p> <p>脱水 無水硫酸ナトリウム</p> <p>濃縮 ロータリーエバポレータ 2～3mLまで</p> <p>転溶 ヘキサン 2～3mL ロータリーエバポレータ及び窒素パージで 1mLまで濃縮</p> <p>カラムクリーンアップ LC-Si Glass Tubes 500mg 溶出：ヘキサン 5mL</p> <p>濃縮 窒素パージ 1mLまで</p> <p>GC/HRMS-SIM-EI</p> <p>内標準物質添加 ナフタレン-<i>d</i>₈ 100ng <i>p</i>-クロロトルエン 100ng</p> <p>(注) 試料量を500mLとして溶媒抽出の塩化ナトリウム添加量を15gと例、溶媒抽出の塩化ナトリウム添加量を50gとして抽出回数を3回とした例、溶媒抽出の抽出液をヘキサンに変更した例などがあった。</p> <p>「令和元年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理：GC/HRMS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【水質】 (ng/L) [4] 0.55</p> <p>分析条件： 機器 GC：Agilent 6890N MS：Agilent 5975C 又は GC：Agilent 8890 MS：JEOL JMS-Q1500 他 カラム HP-5ms UI 30m×0.25mm、0.25μm 他</p>